

透析患者におけるスクロオキシ水酸化鉄マイクロタブレット(SOMC:ピートル顆粒 TM)の使用経験

医療法人衆和会 長崎腎病院

○植木秀一 白井美千代 丸山祐子 河津多代 久原拓哉 澤瀬健次 原田孝司 船越 哲

【背景】

透析患者において高リン血症は、CKDMBD のみならず心血管イベントに直結し、生命予後に大きな影響を与える。現在多数の経口リン吸着剤があるが、それぞれに服薬方法に問題がある。この度、SOMC が発売され、服薬コンプライアンスの向上が期待される。

【目的】

当院における SOMC の服薬コンプライアンスを調査し、またリン低下作用等の有用性を検討する。

【対象・方法】

SO チュアブルまたは LCH 服用中の当院外来透析患者 14 名を対象とし、適切な IC を得た後にそれらを SOMC に切り替え、内服率の他に嘔気や腹満の VAS スケール、出雲スケール、血清リン値を調査した。

【結果】

SOMC への変更により内服率は 89%から 94%へ有意差はなかったが向上した。嘔気(平均 1.3cm から 0cm)・腹満感(平均 1.3cm から 0.6cm)症状、出雲スケールでの各症状(平均:胸やけ 1.2から6、胃もたれ 0.6から0.6、胃痛 1.9から2.1、便秘 1.9から1.8、下痢 1.3から1.1)も減少したが、有意差はなかった。リン値には変化はなかった。

【考察】

SOMC は透析患者のリン低下に貢献する可能性があり、今後症例を追加して報告する。